

豊明市行政評価制度 「事務事業」評価票

一般事務事業 経常事務事業 **建設事務事業**

第5次行政改革大綱第1次アクションプランとの関連
 有
 無

1 事務事業の概要

1-1 事務事業の名称	交通安全施設整備事業							
1-2 担当	部	経済建設部	課 又は施設	土木課	係	維持管理係	評価票作成者	土木課長補佐 小川 泰則
1-3 総合計画における施策の体系	節	都市基盤・産業振興 「いきいきとした賑わいと活力あふれるまちづくり」			基本施策	道路	コード	3 1 1
	項	道路・交通			単位施策(中)	生活道路の整備	コード	3 1 1 2
					単位施策(小)	交通安全施設の充実	コード	3 1 1 2 4
1-4 事務事業の目的の精査	対象と対象の数	市道 1, 293路線 延長348.092km		意図(対象を事務事業によってどのような状態にするのか)	生活道路の安全性確保。			
1-5 事務事業の内容	交通安全のための道路施設整備。							

2 事務事業実施の状況

2-1 事務事業の実施における基本認識	事務事業実施にあたって心がけた改善の取組み		社会状況等の事務事業がおかれる環境把握		市民ニーズの認識	
	平成18年度	維持補修にあたって、利用者へ配慮した方法で実施した。	財政難による予算の確保に苦慮した。		要望意見の統一性が無く、個人本意の要望が強くなった。	
	平成19年度	〃	〃		個人意識の多様化に伴う対応に迫られた。	
	平成20年度	交通安全施設の区長要望について、迅速な対応をするようにした。	より効果の高いものを考慮するようにした。		〃	
	平成21年度					
	平成22年度					
	平成23年度					
	平成24年度					
	平成25年度					
	平成26年度					
平成27年度						

2-2 総合計画における単位施策成果指標	事務事業成果指標名		前期目標値(単位)	後期目標値(単位)	指標の説明
	交通安全施設に対する、要望、苦情件数		200(件)	150(件)	市道の『安全な空間』を確保する目的で、道路施設利用者からの苦情、要望等の件数を数値目標と定めた。

2-3 成果指標に係る活動実績とコストの推移(アウトプット分析)	活動実績 a(単位)	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	直接事業費 b(千円)	55(件)	47(件)	38(件)							
	人件費 c(千円)	11,947	12,498	19,304							
	合計コスト d(b+c)(千円)	6,656	6,656	6,656							
	単位コスト d/a(千円)	18,603	19,154	25,960							
		契約件数1件当たり 338	契約件数1件当たり 407	契約件数1件当たり 683	当たり	当たり	当たり	当たり	当たり	当たり	当たり

アウトプット実績(活動数値)の補足説明 → 交通安全施設の内、苦情要望等で受け付けた内容の内、実際に処理できた件数(発注件数)で、管理者実施分を含まない実数。人件費は維持係全体の事業費からの按分 人件費=2,080時間×3.2=6,656(千円)/時間

		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
2-4 成果指標に対応する実績と達成度の推移	指標対応実績(件)	162	157	121							
	後期目標値に対する達成度(%)	87.8	92.9	129.6							

H16現状値：248

3 事務事業の自己評価結果

3-1 評価結果 (アウトカム自己分析)		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	単年度担当課評価	A	A	A							

4段階評価結果
 A：上位目的である施策に貢献しているので継続する
 B：事務事業の実施手法や環境(予算的・人的)に改善が必要
 C：縮小等、事務事業としての見直しが必要
 D：事務事業の廃止が相当

判断の基準
 必要性(必要な事務事業であるか)
 公共性(公が実施する意味があるか)
 妥当性(ニーズに対して投入が適正か)
 効率性(結果に至る活動に無駄はないか)
 有効性(活動の結果が上位の目的に貢献しているか)
 市民満足度(事務事業が対象にしている市民を満足させているか)

3-2 評価の内容		今後の環境変化を踏まえた課題認識	次年度に向けて改善する取組み	事務事業の担当課としての単年度の取組みの自己評価
	平成18年度	計画的な維持管理に努め、苦情要望件数の減少につなげた。	路面表示について、重点的に取り組みたい。	限られた予算の中でおおむね要望に応えられた。
	平成19年度	〃	道路反射鏡について、重点的に取り組みたい。	〃
	平成20年度	〃	路面表示について、重点的に取り組みたい。	〃
	平成21年度			
	平成22年度			
	平成23年度			
	平成24年度			
	平成25年度			
	平成26年度			
	平成27年度			

4 事務事業の総合評価結果

4-1 総合評価の結果		結果	審査会による改善方向の指示
	平成18年度	A	継続して事業を進めること。
	平成19年度	A	継続して事業を進めること。
	平成20年度	A	継続して事業を進めること。
	平成21年度		
	平成22年度		
	平成23年度		
	平成24年度		
	平成25年度		
	平成26年度		
	平成27年度		